

議会だより

発行日／令和5年5月1日

編集／かほく市議会広報特別委員会

ホームページ <https://www.city.kahoku.lg.jp>
発行／石川県かほく市議会

住所／石川県かほく市宇野気二81番地

Eメール gikai@city.kahoku.lg.jp
☎076(283)7126 FAX076(283)7188

令和5年 第2回かほく市議会定例会のお知らせ (6/12~6/29)

日	月	火	水	木	金	土
	6/12 初日	13	14	15	16	17
	10:00 本会議 (議案説明ほか) 全員協議会 予算決算常任委員会	13:30 議会運営委員会				
18	19	20	21	22	23	24
		議会運営委員会 10:00 本会議 (一般質問) 広報特別委員会	10:00 本会議 (一般質問)	9:00 総務建設常任委員会 総務建設分科会	9:00 地域文教常任委員会 地域文教分科会	
25	26	27	28	29 最終日		
		13:30 予算決算常任委員会 議会運営委員会		10:00 本会議 (討論、採決ほか) 全員協議会		



文化絢爛 ぶんかけんらん
第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭
いしかわ百万石文化祭2023
令和5年10月14日(土)~11月26日(日)

議会を傍聴しませんか！

議会ではどんなことが議論されているのか、本会議・常任委員会などを傍聴してみませんか。どうぞ、お気軽にお越しください。

傍聴の定員は、本会議は30人、各常任委員会・全員協議会は8人です。(受付順)



本会議はケーブルテレビ「かほくチャンネル」で生中継・録画を見ることができます。

表紙のお話し

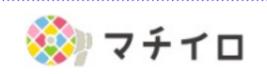
市の指定文化財である喜多家しだれ桜(上山田地内)は、明治26年に喜多家15代喜多善兵衛が兼六園より、種を持ち帰り現在の場所に植えられたものです。

平成19年にナラタケ病に罹患し、樹勢の衰退により、枯死の危険もありましたが、専門業者による樹勢回復処置が行われ、現在は、経過観察中とのことです。

毎年春には綺麗な花を咲かせ、訪れる方を楽しませてくれていることに感謝しつつ、樹勢の回復にも期待します。(Y.N.)



- 広報特別委員会
- 委員長 野田 稔彦
 - 副委員長 中川 康弘
 - 委員 杉本 成一
 - 委員 坂井 正朝
 - 委員 大西 潤
 - 委員 池田 裕
 - 委員 長柄 義治



「議会だより」をスマホで読む！

主な内容	ページ
当初予算の概要	2
審議された議案など	4
一般質問(8人)	7
常任委員会レポート	16
議会報告会	21
議会日程・傍聴案内	24



喜多家しだれ桜 (説明は裏表紙)

※議会だよりは、国会図書館にも送付されています。

※印刷コスト 1部 46円 (発行部数 12,700部)

魅力ある持続可能なまちの創造

- 市総合体育館の完成および
スポーツコミッションの立ち上げ 6億2,854万円
- カーボンニュートラル推進事業 846万円
- 空き家の改修と定住促進（空き家改修支援拡充） 200万円
- 市制施行20周年記念事業 1,381万円
- 北部交流ゾーン活性化事業 3,535万円
など



○合葬墓の建設 2億5,344万円



○通学定期券購入支援 3,900万円



○野菜の摂取量測定機導入（ベジメーター） 86万円



○全国女性消防操法大会出場 308万円



○全天候対応型ドローン購入 394万円

子育て支援の充実と学びの環境づくり

- 出産・子育て応援交付金 3,559万円
- コミュニティスクール推進 2,751万円
- 部活動の地域移行に向けた支援
（コーディネーター、部活動指導員の配置） 930万円
- 小学校における医療的ケア児に係る看護師配置 176万円
など

健康と生きがいの創造

- がん患者補正具等購入費助成 84万円
- eスポーツ体験会開催 50万円
- めざせ！いきいき百歳体操の普及 309万円
- 芸術文化祭開催（いしかわ百万石文化祭2023） 494万円
- 西田幾多郎記念哲学館調査研究事業 850万円
など

安全で安心な暮らしの実現

- 洪水ハザードマップの作成 613万円
- 宇ノ気生涯学習センター長寿命化工事 1億7,880万円
- うみっこらんど七塚改修工事 3,739万円
- 市内公園施設の整備
（七塚中央公園内に防犯カメラ設置など） 1,574万円
- 生活道路の維持改修【補】 4億2,740万円
- 土地改良・施設維持管理【補】 1億2,196万円
（猿ヶ谷堤耐震補強、間野堤防災減災調査）
など

※【補】は、令和4年度補正予算に前倒して計上しているため、当初予算には含まれていません。

令和5年第1回定例会

会期/2月24日～3月17日

令和5年度当初予算を可決 総額297億4,947万円（前年比8.4%増）

住んでよかったと思えるまち、住みたくなるまちを目指す

会計名	令和5年度当初予算	伸び率
一般会計	176億2,000万円	9.3%
特別会計	市営バス事業	1,480万円 1.6%
	墓地	2億5,850万円 2,556.7%
	ケーブルテレビ事業	1億520万円 ▲16.2%
	国民健康保険	33億8,900万円 0.8%
	後期高齢者医療	5億4,000万円 9.1%
	介護保険	34億1,700万円 1.6%
	大海財産区	94万円 ▲5.7%
企業会計	水道事業	14億3,616万円 32.0%
	下水道事業	29億5,887万円 3.5%

具体的には
どんなことを
するのかな？
次のページを見てね！



にゃんたろう

●一般会計を家計簿に置き換えてみました。
（年間500万円支出する家庭に例え算出）



収入	金額	対応する予算
給料	293万円	
うち基本給	290万円	市税、地方交付税
うち諸手当	3万円	地方譲与税
パート収入	6万円	使用料及び手数料 分担金及び負担金
雑収入	23万円	諸収入など
親からの仕送り	110万円	国庫支出金、県支出金 地方消費税交付金など
銀行からの借入れ	43万円	地方債（市債）
貯金の取り崩し	25万円	基金繰入金
収入合計	500万円	

借入金の残高 646万円 市債残高（一般会計分）
貯金の残高 232万円 基金残高

支出	金額	対応する予算
食費	104万円	人件費
生活費（光熱水費・雑費）	172万円	物件費、補助費 維持補修費など
ローンの返済	76万円	公債費
家の増改築	50万円	普通建設事業
子どもへの仕送り	24万円	他会計への繰出金
医療費・介護費	64万円	扶助費
雑支出	1万円	投資及び出資金
定期預金	8万円	積立金
その他の支出	1万円	貸付金など
支出合計	500万円	

単純に比較できない部分もありますので、参考としてみてください。

審議された議案と審議結果

〔市長提出議案〕

議案番号	議案名等	委員会付託先	議決結果
議案第29号	令和4年度かほく市一般会計補正予算(第12号)	予算決算	原案可決 (全会一致)
議案番号	議案名等	上程議決日	議決結果
議案第30号	かほく市部制条例の一部を改正する条例について	3月17日	原案可決 (全会一致)

〔市長提出議案(人事)〕

議案番号	議案名等	上程議決日	議決結果
同意第1号	かほく市公平委員会の委員の選任につき同意を求めることについて ・油野そとえ委員の任期満了に伴い、引き続き再任するもの	2月24日	原案同意 (全会一致)
同意第2号	かほく市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて ・北村眞佐実委員の任期満了に伴い、引き続き再任するもの		
同意第3号 ～同意第9号	かほく市大海財産区管理会管理委員の選任につき同意を求めることについて ・宇野順一 委員および西田省三 委員の任期満了に伴い、引き続き再任するもの ・現職委員の任期満了に伴い、 田中英明 氏、西正一 氏、藏谷豊和 氏、林 輝夫 氏、東 博邦 氏を新たに選任するもの		
同意第10号	かほく市教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて ・長柄悦子 委員の任期満了に伴い、引き続き再任するもの		

〔議員提出議案〕

発議番号	議案名等	上程議決日	議決結果
発議第1号	かほく市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	3月17日	原案可決 (賛成多数)
発議第2号	かほく市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例について		原案可決 (全会一致)
発議第3号	かほく市議会委員会条例の一部を改正する条例について		

※決議の内容については、6および7ページに掲載しています。

議決結果で賛否が分かれた案件

議案番号	議案名等	議員名(議席番号順)														
		長柄裕	池田義治	中川康弘	塚本佐和子	野田稔彦	大西潤	丸井一範	金子猛	坂井正靱	高橋成典	杉本正一	竹内幹雄	杉本成一	寺内照雄	猪村博靖
議案第1号	令和5年度かほく市一般会計予算	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
議案第5号	令和5年度かほく市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
議案第6号	令和5年度かほく市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
議案第20号	かほく市個人情報保護法施行条例の制定について	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
議案第22号	かほく市情報公開条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
議案第23号	かほく市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
発議第1号	かほく市議会の個人情報の保護に関する条例の制定	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—

※ ○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席 猪村博靖議員は議長職のため採決には加わりません。

〔市長提出議案〕

議案番号	議案名等	委員会付託先	議決結果
議案第 1号	令和5年度かほく市一般会計予算	予算決算	原案可決 (賛成多数)
議案第 2号	令和5年度かほく市営バス事業特別会計予算		原案可決 (全会一致)
議案第 3号	令和5年度かほく市墓地特別会計予算		原案可決 (賛成多数)
議案第 4号	令和5年度かほく市ケーブルテレビ事業特別会計予算		原案可決 (全会一致)
議案第 5号	令和5年度かほく市国民健康保険特別会計予算		原案可決 (賛成多数)
議案第 6号	令和5年度かほく市後期高齢者医療特別会計予算		原案可決 (全会一致)
議案第 7号	令和5年度かほく市介護保険特別会計予算		原案承認 (全会一致)
議案第 8号	令和5年度かほく市大海財産区特別会計予算		原案承認 (全会一致)
議案第 9号	令和5年度かほく市水道事業会計予算		原案承認 (全会一致)
議案第10号	令和5年度かほく市下水道事業会計予算		原案承認 (全会一致)
議案第11号	専決処分の承認を求めることについて (令和4年度かほく市一般会計補正予算(第9号))		原案承認 (全会一致)
議案第12号	専決処分の承認を求めることについて (令和4年度かほく市一般会計補正予算(第10号))		原案承認 (全会一致)
議案第13号	専決処分の承認を求めることについて (令和4年度かほく市水道事業会計補正予算(第4号))		原案承認 (全会一致)
議案第14号	令和4年度かほく市一般会計補正予算(第11号)	総務建設	原案可決 (賛成多数)
議案第15号	令和4年度かほく市墓地特別会計補正予算(第2号)		原案可決 (全会一致)
議案第16号	令和4年度かほく市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		原案可決 (全会一致)
議案第17号	令和4年度かほく市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		原案可決 (賛成多数)
議案第18号	令和4年度かほく市介護保険特別会計補正予算(第2号)		原案可決 (全会一致)
議案第19号	令和4年度かほく市水道事業会計補正予算(第5号)		原案可決 (賛成多数)
議案第20号	かほく市個人情報保護法施行条例の制定について		原案可決 (全会一致)
議案第21号	公職選挙法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について		原案可決 (全会一致)
議案第22号	かほく市情報公開条例等の一部を改正する条例について		原案可決 (賛成多数)
議案第23号	かほく市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について		原案可決 (全会一致)
議案第24号	かほく市学童保育クラブ条例の一部を改正する条例について	市民文教	原案可決 (全会一致)
議案第25号	かほく市国民健康保険条例の一部を改正する条例について		
議案番号	議案名等	上程議決日	議決結果
議案第26号	事業契約の締結についての一部変更について	2月24日	原案可決 (全会一致)
議案番号	議案名等	委員会付託先	議決結果
議案第27号	字の区域及び小字の名称の変更について	総務建設	原案可決 (全会一致)
議案第28号	市道の路線認定について		

※議案の主な審査内容については、16ページ以降の各常任委員会レポートに掲載しています。

高橋 成典

長柄 裕

個人情報保護条例 制定

議案第1号に反対

全議案に賛成

次の3点を理由に反対する。

①国保税は、所得割の税率に加え、均等割(一人当2800円)および平等割(二世帯当2100円)の引上げにより、一人平均約六千円の値上で、年金が下がり、給与が上がらないコロナ禍で大変な中、加入者の生活を一層苦しめるものである。

②市税等コールセンター(236万5000円)は、税の未納者約四千件の税に関わる個人情報をも民間業者に渡すものであり、個人情報保護の問題がある。

③インボイス制度システム改修(1320万円)は、消費税が免税であった事業者やフリーランスなどが、課税事業者とならざるを得ない制度であり、反対の声が多く問題である。

また、高校生の定期券購入費用補助および合葬墓建設については評価する。

令和5年度当初予算の主な内容については、総合体育館や合葬墓整備、利用者の増加に対応するための新たな学童保育クラブの開設や高校生を対象とした通学定期券の購入助成、各種健康づくり事業や洪水ハザードマップの作成、カーボンニュートラル推進の施策など、将来を見据えた4つの重点施策を基軸として、更なる住みよさの向上を推進するための様々な事業費がバランスよく計上されており、高く評価する。

また、当初予算以外でも、除雪対策など緊急に対応すべき経費や国の補正予算に呼応した事業費など、必要な予算計上であり、条例関係議案でも、基金を活用して国保税の被保険者負担軽減を図るなど、行政サービスを円滑に推進する内容となっております。全議案に賛成する。

令和3年5月に公布された、「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」により、個人情報保護法が改正され、地方公共団体の個人情報保護制度については、改正後の個人情報保護法により全国共通のルールである国のガイドラインに基づいて、個人情報を取り扱うこととなったが、地方議会においては、法律の対象外となった。

議会における個人情報保護については、これまで市条例の対象となっていたが、市条例が法律の改正に伴い廃止となることから、改めて議会として共通ルールに沿った自律的な措置を講じるため、「かほく市議会の個人情報の保護に関する条例」を制定するもの。

政治倫理条例の一部改正

委員会条例の一部改正

昨年12月に公布された「地方自治法の一部を改正する法律」により、地方議員のなり手確保に向けて、地方自治体と議員個人による請負に関する規制が緩和されたことに伴い、市との請負契約に関する遵守事項について、法律の規定と同様に緩和するため、所要の改正を行うもの。

議案第30号かほく市部制条例の一部を改正する条例が可決されたことに伴い、かほく市議会委員会条例に定めてある常任委員会の名称及び所管事項を一部改正し、「市民文教常任委員会」の名称を「地域文教常任委員会」とし、所管を「地域政策部」、「健康福祉部」、「教育部」の3部局とするもの。

「議会議員政治倫理条例」って？
議員が市民全体の代表者として、市民の信頼に応え、公正で開かれた民主的な市政の発展のため、自己の地位による影響力を不正に行使して、自己の利益を図ることのないよう遵守事項を定めたもの。



にゃんたろう

議会と意見交換しませんか

議会では、市民の皆様と自由に情報及び意見を交換することによって、市政のさらなる発展、議会の活性化を目指し、議会報告会を開催しています。
議会との意見交換をご希望される団体等、お気軽にご連絡下さい。

【問い合わせ先】 かほく市議会事務局
電話 283-7126

質問者

一般質問 あなたの声を市政に

各ページの「QRコード」をスマートフォンなどで読み取ると、一般質問を動画でご覧いただけます。
※機種によりご利用いただけない場合があります。
※視聴にかかる通信料等の費用は、ご自身の負担となります。
※動画の保存期間は、概ね1年間です。

ページ	質問事項	質問者
8	収入保険(農業経営収入保険)助成事業について ほか	長柄 裕
9	こども食堂支援について ほか	塚本佐和子
10	リトルベビーハンドブックについて ほか	池田 義治
11	七塚配水区の断水問題、原因と今後の対策等について ほか	高橋 成典
12	断水災害について	金子 猛
13	子育て支援の充実について ほか	竹内 幹雄
14	ゼロカーボンシティに向けての取り組みについて ほか	杉本 正一
15	森林環境譲与税を活用した取り組みについて ほか	大西 潤



ながら ぬおまさ 市長

Q 農業経営収入保険の加入促進と助成について

A 市長 農業経営における収入減少のリスクは、農業者自身の怪我・病気の他、自然災害や気候変動、近年では新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要減少や価格低下など多様化している。

平成30年4月に農業災害補償法を改正した農業保険法が施行され、新たに農業経営収入保険制度が設けられ、青色申告を行う農業者を対象とし、自然災害や価格低下などによる農業経営者の収入減少のリスクに幅広く対応出来る様になった。



みづの わかこ 塚本 議員

Q 1月26日からの大寒波における、空き家の漏水、水道水の融雪利用による断水が発生した。災害時に最も重要なのが情報と言われている。

A 市長 断水発生当初は、いいメールかほく、LINE、ホームページなどのみで、電子媒体を利用されていない方には、十分な情報が行き届かなかったケースがあり、今後の課題として検討が必要である。

急速に進むデジタル社会を見据え、更に防災アプリなどのデジタル技術の導入により、市民の皆様が安心して生活できるように取り組んでいく。

【断水の一部解消について（1月30日午前6時00分現在）】

下記の地区の断水は解消しております。

秋浜地区、浜北地区、外日角地区、白尾地区の一部、遠塚地区の一部

赤水や白にごり水等が発生している場合があります。

飲料用ではありません。飲まないでください。

飲料水については、引き続き下記の施設にて配布しております。

七塚健康福祉センター(遠塚口52番地10)
木津公民館(木津イ35番地3)
白尾公民館(白尾ヌ48番地)

飲用可能になりましたら、再度お知らせいたします。

【お問い合わせ】
上下水道課 TEL:076-283-7106

かほく市公式LINE

質問1

農業経営収入保険への加入助成を検討せよ

新たな補助制度の創設を検討する



農作業風景（八野地内）

質問2

「いしかわ百万石文化祭2023」について

様々な方法でPRする

Q 「いしかわ百万石文化祭2023」のPR方法は

A 教育部長 市が主催する哲学シンポジウムや生涯学習フェスティバルの拡大版である芸術文化祭のほか、短歌大会や音楽・フォーマンス、全国障害者芸術・文化祭事業として、まちを走る多様性アート展を予定している。

PR方法は、ホームページによる紹介をはじめ、LINEやインスタグラムなどのSNSを活用した情報発信を予定している。

また、県実行委員会が作成するのぼり旗を会場周辺に設置し、



懸垂幕（市役所）

質問1

今後の災害時における情報提供は

多様な情報伝達手段により市民の安心に取り組む

質問2

子ども食堂への運営支援が必要だ

市として支援できることを検討する

Q 子ども食堂を運営する団体が2件立ち上がっている。

A 市長 断水発生当初は、いいメールかほく、LINE、ホームページなどのみで、電子媒体を利用されていない方には、十分な情報が行き届かなかったケースがあり、今後の課題として検討が必要である。

子ども食堂は地域コミュニティ

形成への理解だけではなく、食品ロスという課題にも有効な役割があると考えている。

子ども食堂の捉え方およびフードドライブ、運営支援について問う。

A 健康福祉部長 本市の子ども食堂の広がりを見込み、必要性を感じている。



こども食堂のカレー弁当

フードドライブについては、各種市民団体と連携し、協力できることを検討していく。また、運営支援については、県の子ども食堂支援事業の実施状況を注視し、今後、市として支援できることを検討する。

*フードドライブ 主に家庭で余っている食べ物を持ち寄り集めて、地域の福祉団体やフードバンク等へ寄付すること



Q 断水の原因となった空き家等での水道管の凍結による漏水対策として、水道の利用状況を監視できる遠隔スマートメーターの導入や注意喚起が必要ではないか。

A 市長 スマートメーターの導入および遠隔検針については、令和6年度から上下水道事業の包括民間委託事業において、実証試験を行い、費用対効果を含め検討していく。

また、水道管の漏水などに関する注意喚起については、広報紙や検針時に空き家等へ配布するチラシ、SNSでの周知などを継続して行うなど、今回の経験を生かし、重要なライフラインを守るため最善を尽くす。



たかはし しげのり 高橋 成典



Q 小さく生まれた赤ちゃんのために作成された「つなぐ手帳ブック」の配付対象は。

A 健康福祉部長 生まれたときの体重が1500グラム未満の赤ちゃんが主な対象となる。



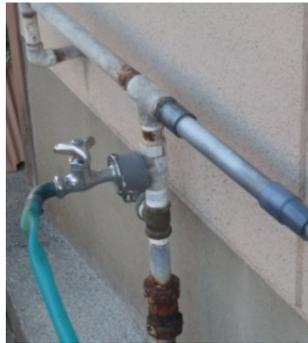
いけだ よしはる 池田 義治



つなぐ手帳

質問 1

断水問題の原因と再発防止策を問う
今回の経験を生かして最善を尽くす



漏水防止工事をする水道

質問 2

Q 電気代高騰、中小企業への支援を今後検討する

A 小松市は、エネルギー価格の高騰で、影響を受けている中小企業などを支援するため、電気代や燃料代の値上がり分の半額を補助する。かほく市でも実施できないか。

A 産業建設部長 各自治体に国の交付金などがどう配分されるのか、そういったことも見ながら、今後検討する。

質問 3

Q オーガニック給食の普及を今考えていない

A 学校給食などに有機農産物を提供している地域が広がっている。

学校や、こども園の給食にオーガニック食材を取り入れるべきではないか。



学校給食のひと時

質問 4

Q 子ども食堂に助成を検討する

A 子ども6人から7人に1人が貧困状態にある。

市内2カ所の子ども食堂に市独自の支援策を。

A 健康福祉部長 市内の子ども食堂の活動状況、県の支援の実施状況を注視し、検討する。

A 教育長 オーガニックや自然環境の維持という点から、子どもたちが学ぶことは大変有意義であるが、現時点では学校給食に取り入れることは考えていない。

*オーガニック給食 有機栽培や自然栽培などの化学肥料と農薬を使用しない農法で栽培された農産物を積極的に取り入れた給食

質問 1

リトルベビーハンドブックについて問う
手帳を活用し家族の気持ちに寄り添い支援する

質問 2

Q 使い方は。

A 母子健康手帳を補完するもので、母子健康手帳と併せて使用するようになる。

Q 配付場所および市ホームページでの案内状況は。

A 3月1日に運用開始しており、県内4か所の周産期母子医療センターにて配付している。また、市ホームページに掲載し、周知している。

Q 母子健康手帳との1冊化およびアプリ導入の検討は。

A 母子健康手帳とつなぐ手帳を1冊にまとめることは考えていない。

母子健康手帳アプリは、国や他の市町の動向を注視しながら検討していく。

Q 帯状疱疹予防接種助成金の交付申請状況は。

A 市長 2月末で126名の申請があり、内訳は生ワクチン49名、不活化ワクチン77名となっている。

また、男女別では、男性38名、女性88名であり、50歳以上接種割合は約0.75%、年代別では50歳代32名、60歳代34名、70歳代51名、80歳代9名となっている。

Q 帯状疱疹予防接種の助成を2分の1に拡充せよ。

また、生活保護受給者への配慮は。

帯状疱疹とは？

体の片側に水ぶくれを伴う赤い斑点が帯状に広がります。症状は、強い痛みを伴うことが多く、3~4週間ほど続きます。

生ワクチン		不活化ワクチン	
男性	女性	50代	70代
49	88	32	51
38	88	34	51

片側だけ
・痛み
・赤い発疹
・水ぶくれ

申請状況126名(84年4月~85年2月末)

帯状疱疹

質問 2

A 今年度、助成制度を導入したばかりであり、他の予防接種助成額と均衡を考慮する必要があることから、助成金の拡充は考えていない。

帯状疱疹ワクチンは任意予防接種で、生活弱者に配慮すべき定期接種とは異なり、生活保護受給者への特別な配慮は難しい。



たけうち みき お雄
竹内 幹雄

Q 文科省の学習費調査では、小学校に比べ、中学校は1.5倍必要であり、中でも、中学3年生は1、2年生に比べ、2割以上多く必要となっている。高校受験を控え、学習費の負担が大きい中学3年生へ学校給食費を助成せよ。

A市長 学校給食費は、就学援助制度により全額助成しており、約11%の生徒が対象となっている。限られた財源の中で、学びの環境整備を図り、学力向上や生きる力の育成に取り組んでおり、新たな給食費の助成制度も含め、全ての子育て世代に対し、有効な経済支援の在り方を総合的に検討していく。

Q 部活動地域移行の現状と総括コーディネーターの役割は

A教育部長 生徒数の減少や教職員の負担軽減の観点から、地域との協働により、生徒が希望する部活動に取り組むことができる環境を整備することが目的である。

コーディネーターは、地域移行の受け皿となる各種団体や部活動関係者との協議調整を担い、運営体制の構築や指導者の確保などの中心的な役割を行う。

Q 令和5年度に配置予定の部活動地域移行総括コーディネーターの役割・業務内容を問う。

A教育部長 生徒数の減少や教職員の負担軽減の観点から、地域との協働により、生徒が希望する部活動に取り組むことができる環境を整備することが目的である。

コーディネーターは、地域移行の受け皿となる各種団体や部活動関係者との協議調整を担い、運営体制の構築や指導者の確保などの中心的な役割を行う。

質問 1

中学3年生へ学校給食費を助成せよ
有効な経済支援の在り方を総合的に検討する

質問 2

Q 高松および高松北歩道整備事業の現状を問う

A市長 これまでの国への要望活動により、多くの予算が計上されており、今後も皆様にご協力いただきながら、積極的な要望活動を行っていく。

質問 3

令和4年度は、国の全国旅行割などにより、人の流れが回復傾向であり、最終的に黒字となる見込みである。

Q 令和5年度の里海館の改修方針を問う。

A 海岸線の立地を活用して、海の見えるカフェをコンセプトに改修を行うほか、ドッグラン利用者を集客するためのウッドデッキを新設する。



里海館ウッドデッキ(イメージ)



かねこ たけし
金子 猛

Q 給水パックの作成や給水所での情報提供など、断水災害時の対応において、初動体制に教訓とすべき課題があった。今後の災害発生時に、どう活かしていくのか。

A市長 1月末に発生した断水は、空き家などの水道管が凍結により破損し、多くの箇所で漏水したことが原因である。七塚配水池水位低下の兆候を確認後、水位を維持するための対応と並行して、給水所の設置および給水パックへの詰め込み作業を開始したが、給水所設置の初期段階において、給水パックの数量不足や情報提供に課題があったと認識している。今回の断水対応を教訓とし、



断水時の給水作業

初動体制の在り方だけでなく、空き家などの漏水対策や情報提供など、全ての事柄を総合的に検証し、今後、断水被害が起らないよう万全を期す。

Q 初動体制において機動部隊が必要ではないか

A市民生活部長 防災力向上のため、機動部隊などの効果的な活用について検討していく。

Q 断水により消火栓が使用できない状況で、火災が発生した場合の消火体制はどうなっているのか。

A消防長 市内の消防水利状況は、消火栓1284基、防火水槽212基であり、その他に河川などの自然水利がある。断水が発生した場合、全ての消防職員および団員に対し、火災時には防火水槽を使用することや、状況により全9分団が出動する体制に切り替えることを連絡している。



自然水利を活用した消防訓練

質問 1

断水災害の教訓を初動体制にどう活かすのか
初動体制の在り方など検証し、万全を期す

質問 2

また、断水を想定した複数の防火水槽を使用する訓練や、自然水利を使用し、複数台のポンプ車をホースで繋ぐ中継訓練を合同で行うなど、消防技術の向上を図り、安全安心を守る体制を整えている。



旧巨峰団地（二ツ屋地内）

Q 旧巨峰団地再生に向けた令和5年度の取組みについて聞く。
A 市長 令和5年度は、生産農家をはじめ、県や市、石川かほく農業協同組合や高松ぶどう生産組合などの関係団体で構成する勉強会のほか、再生に取組む組織として協議会を立ち上げ、意見交換を重ねていく。



おおいし じゅん 大西 潤

質問 1

旧巨峰団地再生に向けた令和5年度の取組みは再生に取組む組織として協議会を立ち上げる

合わせて、生産農家に対する旧巨峰団地への参入意向の確認や支援制度のあり方など、担い手確保対策についても検討する。

質問 2

森林譲与税の活用策は意向調査を進めている

Q 森林環境譲与税を活用した取組みについて聞く。

A 産業建設部長 現在、森林管理事業を進めるために、森林所有者の所在や意向確認などを目的として、森林の経営管理についての意向調査を進めている。

令和6年度からは、調査結果を踏まえて地元説明会や境界の明確化事業を実施したうえで、森林管理方法を記載した集積計画を作成し、森林管理事業を展開していく予定としている。



高地谷林道の八重桜

また、令和5年度は、森林環境の教育活動としての親子木工教室の開催や林道高地谷線などの沿道にある約千本の八重桜の保全事業を実施する予定である。

質問 3

市史編さん事業の進捗は図説編の発刊を目指す

Q 市史編さん事業は、かほく市の歴史を過去の資料をもとに客観的に後世へ伝えることを目的に、図説編や資料編、通史編として分かりやすく冊子にするものである。

そこで、市史編さん事業の進捗と完了する見込みについて聞く。

A 教育部長 第1巻図説編に関する資料収集や現地調査等を実施するとともに執筆作業を進め、令和6年度の市制20周年記念事業の一つとして発刊する予定であり、市制30周年を迎える令和16年度に事業の完了を見込んでいる。



河北郡市クリーンセンター

Q ゼロカーボンシティに向けた具体的な取り組み内容は。
A 市長 ゼロカーボンシティは、共創による実現を目指しており、令和5年度は脱炭素に関する教育や普及啓発を推進するため、ロゴマークやキャッチコピーの作成、広報紙での啓発記事の掲載や出前講座など、市全体で機運の醸成を図る。また、長期的な取り組みとし



すぎもと しょういち 杉本 正一

質問 1

ゼロカーボンシティの取り組みは市全体での共創により、脱炭素を目指す

て再生可能エネルギーの導入を推進しており、住宅への太陽光発電システム設置への補助金交付や公共施設への設置も検討していく。

その他、新たに建設した河北郡市クリーンセンターでは、ごみの焼却熱を活用した発電により、二酸化炭素を削減し、脱炭素の実現を目指す。

質問 2

緊急搬送困難事案の現状について聞く

8件あり、5件が新型コロナウイルス感染症事案であった

Q 救急出動件数の増加やコロナ禍の影響による緊急搬送困難事案の現状は。

A 消防長 令和3年に3件であった

た緊急搬送困難事案が、令和4年では、8件に増加し、そのうち5件が新型コロナウイルス感染症事案であった。

Q 近隣自治体との応援協定による支援体制は。

A 救急車が全て出動している際に、救急出動要請があった場合、金沢市、津幡町及び内灘町との相互応援協定により、市町の管轄を越えて救急車を出動する体制であり、広域的な救急体制の強化を図っている。

Q PA連携出動の現状は。

A PA連携出動により、先着した消防隊が応急処置をすることで救命率の向上につながっている。

現場での緊急性の高い傷病者に対し、救命処置を行うケース



PA連携出動

ポンプ車 (Pumper) と救急車 (Ambulance) が同時に出場するもので、双方の頭文字から「PA」と名前をつけたもの

が一番多く、他にも幹線道路での安全確保などの後方支援を行っている。
Q 救急救命の課題は。
A 高齢化の進展に伴い救急需要の増加が予想されるが、全国的に症状に緊急性のない救急要請が増加している。必要な方が適切に利用できるよう、救急車の適正利用について、今後も広報および啓発活動に努める。

総務
建設
常任
委員会

国が個人情報保護制度の一元化を実施

おもな審査内容

◎個人情報保護法施行条例の制定

個人情報の保護に関する法律が改正され、地方公共団体にも同法が一律に適用されることとなったため、現行の個人情報保護条例を廃止し、同法の施行に關して必要な事項を規定する個人情報保護法施行条例を定めるもの。

高橋委員

全国共通の法律であり、他自治体と差異はないのか。

総務課長

これまで差異のあったものを一元化するものであり、法律に定めのない部分で、必要最小限の部分を条例で規定している。

◎情報公開条例等の一部改正

個人情報保護法施行条例の制定により、同条例において諮問を受ける機関を行政不服審査会と定めるもの。

また、情報公開条例における諮問機関も、同様に行政不服審査会に一元化するなど所要の改正を行うもの。



マンガで学ぶ個人情報保護法

◎公職選挙法施行令の一部を改正

正する政令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定

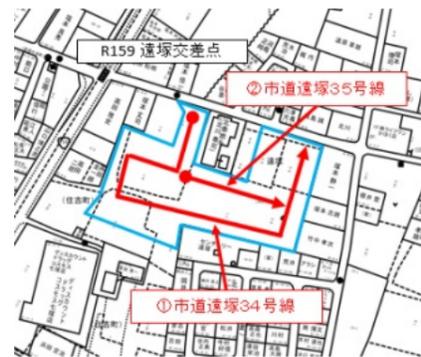
公職選挙法施行令の改正に伴い、自動車の使用、ポスターおよびビラの作成など選挙における公費負担に関する条例3本を改正するもの。

◎字の区域及び小字の名称変更

県営ほ場整備事業「中沼・夏栗地区」のうち、夏栗工区の完成に伴い、従前の区画形状に変更が生じたため、字の区域及び小字の名称を変更するもの。

◎市道の路線認定

遠塚地内における民間の宅地造成事業において築造された道路を市道遠塚34号線および35号線として認定するもの。



市道遠塚34号および35号

総務建設常任委員会

- 委員長 金子 猛
- 副委員長 坂井 正毅
- 委員 寺内 照雄
- 杉本 成一
- 高橋 成典
- 大西 潤
- 長柄 裕

市民
文教
常任
委員会

新設学童保育クラブでニーズに対応

おもな審査内容

◎学童保育クラブ条例の一部改正

増加する学童保育クラブへのニーズに対応するため、外日角小学校付近に完成した新たな施設において、外日角第3および第4クラブを運営し、定員を20名増加するために、所要の改正を行うもの。

中川委員

今後の人口推移からもニーズは増加していくと思われるが、20名の定員増加で大丈夫か。

子育て支援課長

現在確保できている敷地や予算規模において、最大限の定員増加である。

塚本委員

定員の設定は、夏休み期間などの利用者増加も考慮しているのか。

子育て支援課長

定員は、通常運用を基本に設定しているが、外日角学童保育クラブでは、夏休み期間も対応できる。

市民生活部長

利用者増加への対応は、民営化も含め、適宜検討していく。



外日角第3・第4学童保育クラブ

◎国民健康保険条例の一部改正

石川県から示された標準税率を参考に、保険税率を引き上げるほか、税額決定のしくみをより分かりやすくするとともに、納付月によって税額に大幅な増減が生じないよう、仮算定を廃止するなど所要の改正を行うもの。

◎国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金等の支給額を42万円から50万円に変更するもの。

野田委員

3万円を上限に加算される内容。

保険医療課長

*産科医療補償制度の掛金について、3万円を上限として加算する。

*産科医療補償制度 分娩に関連して重度脳性麻痺となった児と家族の経済的負担を補償する制度

市民文教常任委員会

- 委員長 丸井 一範
- 副委員長 野田 稔彦
- 委員 竹内 幹雄
- 杉本 正一
- 塚本 佐和子
- 中川 康弘
- 池田 義治

予算
決算
常任
委員会

議会定例会初日の2月24日に説明を受け、質疑を経て各議案の詳細な審査を分科会で行い、3月15日に両分科会での審査内容の報告を受け、採決を行った。

総務建設分科会

3月13日開催

おもな質疑

坂井委員
合葬墓の販売開始時期は。
総務課長
完成後に行う内見会から受付を開始する予定である。

坂井委員
北部エリア活性化での地域商家プロモーターの役割は。
産業振興課長
物産展への参加やネット販売など、特産品のPRを担う。

総務建設分科会

合葬墓整備を実施

市民文教分科会

パートナー制度の導入実施

大西委員

里海館に新設するウッドデッキへの案内など、効果的な誘導サインを設置する予定は。
産業振興課長
利用する方にとって分かり易い案内表示を検討する。

寺内委員

大谷川の浸水対策にしっかりと取り組んでほしい。

ほ場整備に伴い盛土を行うなど、石川県と連携しながら取り組んでいく。

産業振興課長



高橋委員
農産物ブランド力向上チャレンジ事業の対象は。
産業振興課長
市内において、一般化されておらず、定着性・普及性があり、2年以内に成果があることなどが要件となっている。

市民文教分科会

3月9日開催

おもな質疑

池田委員
パートナー制度の導入時期を早めることはできないか。
市民生活課長
12月の人権週間に合わせて導入することを予定しており、職員への対応の周知など準備を進めていく。

野田委員
洪水ハザードマップの完成時期は。
防災環境対策課長
令和5年に石川県が公表する洪水浸水想定区域図*をもとに作成し、令和6年の出水期までに配布する予定である。

中川委員

電子図書館の利用状況は。
生涯学習課参事
貸出実績は、毎月130件程度であり、小中学校の図書委員やいきいきステーションでの出前講座を通して、電子図書館の利用を推進していく。

杉本正一委員

老人福祉センターの統合は検討していないのか。
長寿介護課長
統合による効率的な運用の検討も並行しているが、令和5年度では、現在の運用で必要な維持管理を実施する。

竹内委員

部活動の地域移行の状況は。
教育部長
学校教育としての部活動を地域の活動に移行するもので、課題は多いが、統括コーディネーターを配置し、協議・調整を推進していく。

*出水期 集中豪雨(梅雨)や台風など川が増水しやすい時期

総務建設分科会 審査案件	
内容	令和5年度一般会計予算 ※予算の内容は2・3ページを参照
内容	令和5年度特別会計予算 (市営バス・墓地・ケーブルテレビ・大海財産区・水道・下水道)
内容	専決処分 令和4年度一般会計補正予算(第9・10号) 専決処分 令和4年度水道事業会計補正予算(第4号)
内容	令和4年度一般会計補正予算(第11号) ・除雪および断水対応に関する経費 など
内容	令和4年度特別会計補正予算(墓地・水道) ・ほ場整備事業(金津地区、山田地区など) ・消雪設備更新、道路改良、橋りょう補修 ・事業実績に伴う精算補正 など
内容	事業実績に伴う精算補正



うみっこらんど七塚

塚本委員

うみっこらんど七塚改修に伴う運営内容の見直し予定は。

生涯学習課長
焚火体験などイベント広場の活用方法を検討していく。

予算決算常任委員会

委員長 杉本 正一
副委員長 大西 潤
委員 議長を除く12名

市民文教分科会 審査案件	
内容	令和5年度一般会計予算 ※予算の内容は2・3ページを参照
内容	令和5年度特別会計予算 (国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険)
内容	専決処分 令和4年度一般会計補正予算(第10号) ・断水対応に関する費用 ・落雷被害による高松野球場照明、スコアボード改修 など
内容	令和4年度一般会計補正予算(第11号) ・LED改修(高松中学校、宇ノ気体育館など) ・事業実績に伴う精算補正 など
内容	令和4年度特別会計補正予算 (国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険) ・事業実績に伴う精算補正



意見交換会

2月8日、市の住み良さを向上させる取り組みの参考とするため、かほく市を移住先に選んだ理由や実際に住んでみている魅力と足りない所について、移住して来られた12名の方々と意見交換を行いました。

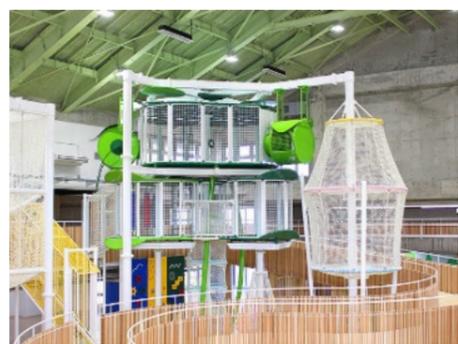
最初に猪村議長が、これまでの議会改革の取り組みなどについて報告した後、意見交換会を行いました。

住んでみて感じる、かほく市の魅力と足りない所

主 な 内 容

足りない所

- 子育てが一段落した中高年層が利用できる芸術・文化施設がほしい
- 福祉巡回バスが土日など休日に運行していない、かほくへの運行がない
- 元気な高齢者が利用する施設（居場所）がない
- 街灯が少なく夜道が暗い
- お祭りなど大きなイベントが少なく寂しい
- 有名な大型商業施設、商店街が少ない
- 大きな企業が少ない
- 宿泊施設（ビジネスホテル含）やスパ銭湯がほしい
- アクティビティーなどの体験型の観光スポットがほしい



あそびの森 かほつくる

魅力

- 石川県の中央に位置し、のと里山海道が利用し易く、金沢や能登へのアクセスが良い
- 海や山など自然豊かな環境
- 周辺市町に比べ土地代が安い
- 18歳までの子ども医療費助成や不妊治療、こども園などの子育て支援策が充実している
- 大きくてきれいな公園がある
- 親切で親しみやすい人が多く相談ののつてもらえる

要 旨

金沢市近郊のベッドタウンとして、交通や自然環境など地理的条件や定住促進・子育て支援策などの重点施策に関しては、比較的高く評価されていますが、子育てが一段落した中高年層および高齢者などが日常生活において利用する生涯学習や市民交流施設、商工業施設、観光スポットなどの施設が少なく居場所が少ないとの評価が多くありました。

生涯学習による生き甲斐づくりや健康で生き活きとした生活を送るための取り組みは、今後の超高齢化社会を迎える上で重要であり、ソフト面や運用面の工夫により、効果的な取り組みを行うことも可能であるため、今回いただいた意見を参考に、執行部への政策提案に向けて議会で検討していきます。

第13代正副議長決まる
議長に杉本成一氏、副議長に丸井一範氏

3月17日、第一回定例会の最終日、議会人事案件が提出され、議長に、杉本成一議員（72歳）、副議長に丸井一範議員（48歳）が選出された。



議長
杉本成一
当選6回

議員各位のご推挙をいただき、議長と言う名誉ある職を担うことを光栄に存じますと同時に責任の重さを痛感致しております。

市民皆様の福祉向上、安全安心なまちづくりのため、議員各位、行政の皆様のご協力、そして、市民の皆様のご理解をいただきながら、かほく市発展に微力ではありますが、頑張っております。



副議長
丸井一範
当選3回

議員各位のご賛同をいただき、副議長に就任させていただきました。

まだまだ未熟な身ではございますが、かほく市の発展、議会の活性化のため、議長を支え、粉骨砕身頑張っております。

今後とも、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

議会組織が変わります

（各委員会委員の任期：令和5年5月12日～令和7年4月30日）

- 総務建設常任委員会（7人）
 - 委員長 野田 稔彦
 - 副委員長 池田 義治
 - 委員 寺内 照雄
 - 竹内 幹雄
 - 丸井 一範
 - 塚本佐和子
 - 中川 康弘
- 予算決算常任委員会（14人）
 - 委員長 金子 猛
 - 副委員長 中川 康弘
 - 委員 猪村 博靖
 - 寺内 照雄
 - 竹内 幹雄
 - 杉本 成一
 - 高橋 成典
 - 坂井 正靱
 - 金子 猛
 - 丸井 一範
 - 大西 潤
 - 野田 稔彦
 - 塚本佐和子
 - 池田 義治
 - 長柄 裕
- 地域文教常任委員会（7人）
 - 委員長 大西 潤
 - 副委員長 長柄 裕
 - 委員 猪村 博靖
 - 杉本 成一
 - 高橋 成典
 - 坂井 正靱
 - 金子 猛
- 広報特別委員会（7人）
 - 委員長 塚本佐和子
 - 副委員長 猪村 博靖
 - 委員 杉本 成一
 - 丸井 一範
 - 中川 康弘
 - 池田 義治
 - 長柄 裕
- 議会運営委員会（6人）
 - 委員長 杉本 成一
 - 副委員長 坂井 正靱
 - 委員 金子 猛
 - 大西 潤
 - 野田 稔彦
 - 中川 康弘



石川県西田幾多郎記念哲学館については、駅を降りてからのアクセスや案内表示、建物の特徴である石畳の階段や哲学の道の維持管理、哲学館までの道中

1月13日、地域活性化・まちづくりコンサルタントであり、合同会社フォーティR&C代表の水津陽子氏を講師に迎え研修会を開催した。

地域ブランドの価値とは、特産品などが、どれだけの人に認知されているか、また、オンラインの魅力があるかが重要であり、また、地域ブランド調査などは、魅力の有無ではなく、どれだけ広く認知されているかを評価するものであるため、魅力向上のためには、情報接触度を高めることが必須であるとのことであった。



トリップアドバイザーHP

にある店舗の情報など、観光客を迎える準備の工夫や建物の世界観をよりPRすることにより、訪れた際の第一印象や満足度が向上し、情報発信力や認知度を高めることに繋がり、利用者が増加するとの提案もあった。

また、世界の旅行口コミサイトである「トリップアドバイザー」などに向けて、地元の魅力を情報発信することも大切であり、SNSの情報発信から始まる地域再生の実例もたくさんあるとのことであった。

特別な観光施設などではなく、平日昼間に利用する日常の魅力をも市民一人ひとりが積極的に発信していくような取り組みの必要性を感じる研修であった。

1月30日、エディター・広報アナリストであり、月刊誌「地方議会人」で市町村議会広報クリニクを担当している吉村潔氏を講師に迎え研修会を開催した。

議員のなり手不足が課題となる中、子育て世代や若い世代など多様な市民の方が関心をもつ議会広報にならないければならないとのことであり、SNSやアプリの活用も必要となるが、紙媒体のニーズも一定数あることから、市民が知りたい情報を提供し、議会活動を理解してもらうためにも広報紙づくりは重要であり、議会定例会の内容などを報告するだけでなく、地域で活動する人や議会報告会など、市民の意見を取り上げるような記事を掲載することが、市民に



議会だより第76号

*SNS ソーシャルネットワークキングサービス(インターネット)を利用して、文章・写真・画像などを投稿して交流を行うもの、フェイスブックやラインなど

関心を持ってもらうためには重要であるとのことであった。

また、編集方法については、見出しの効果的な利用や色文字を利用した分かり易い表示、写真やイラストの活用など具体的な提案もあった。

多様な市民の方に読んでいただき、議会活動について理解や関心を持っていただくため、まずは、編集方法について出来ることから改善し、今後、研修内容を踏まえ、掲載記事の内容などについて検討していく。

「議会への理解と関心を広げる広報紙づくり」 広報特別委員会

「地域振興を活かした地域ブランドや観光振興」 総務建設常任委員会

市民文教常任委員会

1月18日～19日

地域コミュニティによるまちづくりの推進について (福岡県筑紫野市)

筑紫野市は、政令指定都市の福岡市と中核市の久留米市との中間に位置し、両市のベッドタウンとして、近年でも人口の増加傾向にある、面積約88平方キロメートル、人口約10万6千人の都市です。

筑紫野市では、地域の課題解決や魅力を活かしたまちづくり推進のために、自治会等の地縁団体など、特定の目的を持つ各種機能団体が特性を活かしつつ、補完しあいながら地域の自治の中核を担う、コミュニティ運営協議会を組織していました。

各コミュニティ運営協議会で地域まちづくり計画を策定し、特に防災・福祉・教育について



筑紫野市役所

優先して取り組まれており、ボランティア組織の結成や自治会バスの運行など、各地域課題に応じた取り組みが実施されていました。

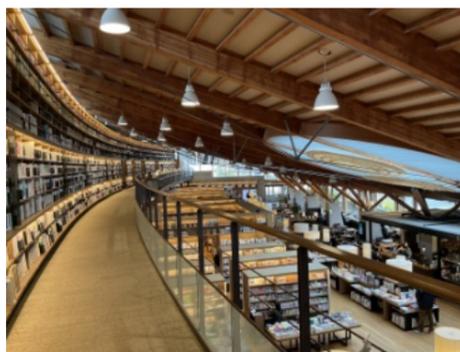
継続的な自治会との協議により、地域コミュニティによるまちづくりを実現しており、同様な仕組みを導入するためには、各地区との十分な協議など課題はありますが、地域が主体となつて地域課題を解決する手法は、大変有効であり、今後検討すべき研修内容でありました。

武雄市図書館およびこども図書館の運営について (佐賀県武雄市)

武雄市は、佐賀県の西南部に位置し、面積は約195平方キロメートル、人口は約4万7千人で、開湯1300年の武雄温泉がある都市です。

市民の生活をより豊かにする図書館をコンセプトに、指定管理者であるCCC(カルチエ・コンビニエンス・クラブ)からの提案や住民アンケートの意見を積極的に取り入れ、年中無休や午後9時までの開館時間、多様な雑誌タイトルが揃うマガジンストリークの設置、蔦屋書店やスターバックスの導入など、従来の図書館運営とは異なる取り組みにより、来館者数は目標を大幅に超える90万人となっていました。

また、子育てがしたいと思つてもらうための「こども図書館」の建設やニーズの高かったグルー



武雄市図書館

プ学習をするための多目的スペースの新設など、常に利用者にとって便利で役に立つ図書館となるよう、職員および図書館司書などスタッフ一丸となって創意工夫されており、来館者数が多いことで、多様なイベントの開催が可能になるとのことでした。

子育て支援イベントの開催や生涯学習に関する講座の開催など、運営面での取り組みにより、図書館をまちづくりの拠点として活用し、地域活性化を推進していく可能性を感じた視察研修でありました。